

棕櫚の葉 shuro no ha palm leaf

棕櫚は大きな手を、にゅっと出してゐる、

Shuro wa ōki na te o, ni yotto dashite iru,

雨に濡れても雪に押されても、風に吹かれても、一旦出した手を引込めない。

ame ni nurete mo yuki ni osarete mo, kaze ni fukarete mo, ittan dashita te o hikikomenai.

小さい時、誰が手を出すやうに教へたか、

Chīsai toki, dare ga te o dasu you ni oshieta ka,

大きくなっても、お前はなぜ手を引込めないか。

ōkiku natte mo, omae wa naze te o hikikomenai ka.

お前の開けた手には目的があらう

Omae no aketa te ni wa mokuteki ga arau . . .

聞きたい、語って呉れ。

kikitai, katatte kure.

『馬鹿な奴だ、棕櫚の葉は千手観音、どっこい、お前の手ぢやないか。』

“Bakana yatsuda, shuro no ha wa senjukan'non, dokkoi, omae no te ja nai ka.

お前は自分の沢山の指を、せいぜい働かせねばならない。

Omae wa jibun no takusan no yubi o, seizei hatarakaseneba naranai.

働かせるのだ、働かすのだ、いいか、

Hatarakaseru noda, hatarakasu noda, ī ka,

衆生済度などと大きなことを云はないで、

shūseisaido nado to ōki na koto o un wa nai de,

何でもいいから動かすのだ せめて蠅たたきとなっても 』

nan de mo ī kara ugokasu no da . . . semete hae-tataki to natte mo . . . ”

私は棕櫚の葉をぢっと眺め、

watashi wa shuro no ha o djitto nagame,

これが私の手だらうかと、考へてみる。

kore ga watashi no te darau ka to, kangaete miru.

日本詩人	Nihon shijin	1925.0701		
表象抒情詩	hyōshō jojō shi	1925.1203	132	
詩歌殿 Shika den		1943.0430	252	
表象抒情詩集	hyōshō jojō shishū	1947.0522	124	
詩人ヨネ・ノグチの詩	shijin Yone Noguchi no shi	1966.1286	268	
日本の詩歌	Nihon no shika	1969.0100	228	
現代日本文学大系	Gendai nihon bungaku taikei	1972.0100	228	

にゆっと [別名：ぬっと、によっと、のっと、ぬうっと] suddenly; abruptly

一旦【いったん】 (adv) (1) (uk) once; (2) for a moment; temporarily; (n) (3) (arch) one morning;

引込む【ひきこむ】 (io) (v5m,vt) to draw in; to win over.

どっこい (exp) heigh-hoh; heave-ho; hold on!; just a minute.

衆生済度【しゅじょうさいど】 (n) enlightenment of the masses; leading the masses on the path of enlightenment (Buddhism).

棕櫚の葉

棕櫚は大きな手を、によつと出してゐる、
雨に濡れても雪に押されても、風に吹かれて
も、一旦出した手を引込めない。
小さい時、誰が手を出すやうに教へたか、
大きくなつても、お前はなぜ手を引込めない
か。
お前の開けた手には目的があらう……
聞きたい、語つて呉れ。
『馬鹿な奴だ、棕櫚の葉は千手観音、どっこ
い、お前の手ぢやないか。
お前は自分の沢山の指を、せいぜい働かせね
ばならない。
働かせるのだ、働かすのだ、いいか、
衆生済度などと大きなことを云はないで、
何でもいから動かすのだ……せめて蠅た
たきとなつても……』
私は棕櫚の葉をぢつと眺め、
これが私の手だらうかと、考へてみる。